

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- ・学校課題研究の充実（平成30，31，32年度さいたま市教育委員会研究指定「基礎学力向上」）による、授業改善を図る。
- ・学校と家庭が連携して、自主学習の継続を促す。
- ・業前時間や行事を工夫して、児童の学習意欲を高める。

＜本年度の学力向上策＞

【学校教育目標】

かしこく やさしく たくましく

～笑顔と歌声は子ども達の心の表れ、よりよく生きる子ども達に～

1 学校課題研究の充実

今年度より3年間、さいたま市教育委員会による研究指定「基礎学力向上」「安全教育」について、国語パート・算数パートによる授業づくりと家庭学習及び安全に関する知識・技能等の習得（全国交通安全普及協会による交通安全に関する授業、竜巻を想定したシェルター訓練等）により、学力向上を図る。

2 全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査の結果分析の活用

○調査結果から：学力では、漢字（書き）の無答率が1割を超え、記述式解答の無答率は全国平均を超えている。また生活習慣では、「計画を立てて勉強している」、「予習・復習をしている」「将来の夢・希望をもっている」が全国平均を下回る。…漢字検定協会と連携して、漢字検定を実施する。

○学力向上カウンセリング学校訪問により、本校の課題と解決の方策について、本校の実態に即した講話をいただき、日々の授業改善に役立てる。

3 業前時間・自主学習の工夫・活用

○業前時間に「あゆみタイム（月曜朝・基礎学力）」、「GSタイム（月曜放課後、金曜朝）」「海老沼タイム（水曜朝・体力向上）」を設定し、学力向上を側面から支える。

○「海老沼小漢字検定」実施に向け、「あゆみタイム」で検定合格を目標に漢字練習に取り組み、漢字学習への意欲と漢字の定着率向上を図る。

＜本年度の振り返り＞

○全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査の結果分析から、今年度より、公益財団法人日本漢字能力検定協会と連携し、海老沼小漢字検定（全児童実施）、同協会による「漢検」（希望した児童・保護者、本校会場）を実施した。「あゆみタイム（月曜朝・基礎学力）」を利用して、全校で漢字練習に取り組み、海老沼小漢字検定では合格者を表彰朝会で表彰した。希望者による「漢検」には、170名の応募があり、漢字学習に対する関心の高さが明らかになった。今後、継続していくことで、基礎学力向上の一翼を担えるようにしたい。